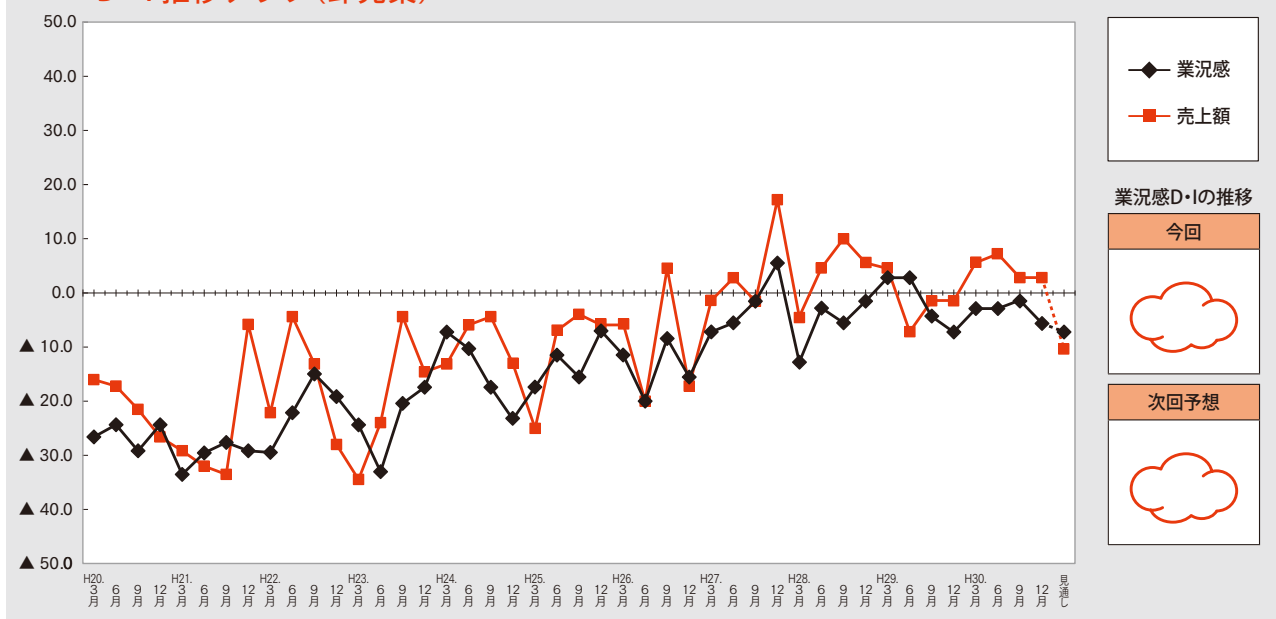


卸売業

Wholesale trade

販売価格・仕入価格ともに上昇

D・I推移グラフ(卸売業)



1 今期 (平成30年10-12月期)

卸売業の業況感は、今期▲5.7(前期▲1.4)となり、対前期やや悪化し、6期連続のD I値マイナスとなった。

売上額は横ばい、収益は1.5ポイントとやや改善し、販売価格が10.0ポイント上昇したが、仕入価格も5.7ポイント上昇し、資金繰りの改善には至っていない。在庫の過剰感、人手、設備の不足感は続いており、業況感のマイナス解消には厳しい状況が続いているといえる。

2 来期の予想 (平成31年1-3月期)

来期の業況感は▲7.1と今期よりさらに1.4ポイント悪化し、売上額、収益も悪化する見込みであり、7期連続のマイナスとなる見通しである。依然として、仕入価格は上昇傾向にあり、資金繰りは「やや悪い」と回答する企業が増加している。人手の不足感はやや弱まる見込みであるが、設備不足感と合わせて解消のめどは立っていない。

DI値の推移 (過去1年と3カ月後の予想)

	H29. 12月期	H30. 3月期	H30. 6月期	H30. 9月期	H30. 12月期	来期 見込み
業況感	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 1.4	▲ 5.7	▲ 7.1
売上額	▲ 1.4	5.7	7.1	2.9	2.9	▲ 10.1
収益	▲ 1.4	0.0	8.6	▲ 2.9	▲ 1.4	▲ 10.1
販売価格	7.1	10.0	8.6	5.7	15.7	10.1
仕入価格	▲ 18.6	▲ 11.4	▲ 15.7	▲ 15.7	▲ 21.4	▲ 15.9
在庫	1.5	▲ 1.4	▲ 15.7	▲ 10.0	▲ 8.6	▲ 7.2
資金繰り	▲ 24.3	▲ 20.0	▲ 4.3	▲ 18.6	▲ 14.3	▲ 15.9
人手	11.4	14.3	14.3	14.3	10.0	8.6
設備状況	17.1	4.3	8.6	14.3	7.2	7.4

業況調査メモ

鹿児島県商工会連合会はJAグループ鹿児島との包括連携協定に基づき、18年度から各地域のJAや商工会が開発した商品を応援する「JA・商工会推奨品販路開拓事業」に乗り出した。初年度は4品を推奨品に認定し、「かご市」やAコープ、経済連の通販などで販売支援する。商工会はまた県内特産品の海外販路開拓にも熱心で、17年度からはベトナムで県内産のしょうゆ、みそなどの発酵食品の販路開拓事業を進めている。18年10、11月にはパリの高級レストランで焼酎、お茶、黒酢など県産食材を現地のシェフやバイヤーにPRする鹿児島フェアを開催した。地域商社としての商工会の役割に期待がかかる。